公共事業事前評価調書(令和7年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班: 災害砂防班

事業名	沢岷(3)地区急傾斜地崩壊対策事業	事業区分	急傾斜地崩壊対策事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	浦添市沢岷地内				
事業の諸元	急傾斜地崩壊危険区域 A=約0.68ha 落石予防工、落石防護工、仮設工 各一式				
事業の概要	<p>当該箇所は、浦添市沢岷地内に位置する南向き斜面で、斜面の平均高さは約11m、傾斜度平均約36.2°の急傾斜地であり、斜面は琉球石灰岩の急崖が断続的に形成している。</p> <p>当該急傾斜地は、斜面の崩壊・落石により危害が生じる恐れのある人家が近接して15戸存在する。</p> <p>令和2年5月に集中豪雨等によるがけ崩れが発生し、落石・倒木が近隣の住宅敷地内に落下し、倉庫部分が被害にあった。また、斜面上方には、オーバーハング箇所が明瞭で、落石が点在しており、斜面の風化・浸食が顕著になってきているものと考えられる。</p> <p>これらの状況から、落石や斜面崩壊の恐れがあることから、周辺住民への被害を未然に防止するため、急傾斜地崩壊対策事業を実施するものである。</p>				
事業の必要性・効果等	<p><必要性> 当該箇所は、斜面に多数の転石等が確認されていることから、斜面全体が不安定な状態となっており早急な対応が求められている。斜面直下には住宅が隣接している。</p> <p><効果> 事業の実施により、周辺住民の生命・財産の保護が図られる。</p>				
事業期間	事業採択	令和7年度	完了(予定)	令和9年度	
全体事業費	1.84	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率 1/2
費用対効果	B/C = 7.43	総便益: B 11.97 (億円)	総費用: C 1.61 (億円)	基準年	
		① 被害軽減便益11.97億円	① 建設費 1.59億円 ② 維持管理費 0.02億円	令和5年度	
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>令和2年5月のがけ崩れ発生後、地元自治会および浦添市からの要請を契機に、事業実施に向けた条件整備に鋭意取り組んでおり、地権者同意取得状況も約98%と高い値であり、地元の期待も大きい。</p> <p>上位計画では新・沖縄21世紀ビジョン基本計画において「あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり」の中で、土砂災害対策への取り組みが位置づけられている。</p>				
環境への配慮	不安定要素の落石発生源において、落石防護網工、落石防護柵工で地形改変を最小限に抑え、環境へ配慮する。				
関係する地方公共団体等の意見	<p>令和3年7月9日付で沢岷自治会より浦添市へ急傾斜地崩壊危険区域指定要請。</p> <p>令和3年7月12日付、浦添市より中部土木事務所へ沢岷地区急傾斜地崩壊危険区域指定要請。</p>				
概要図(位置図)	<p>位置図</p>				